

平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	3,861	△1.8	210	△30.1	212	△30.9	108	△40.6
27年6月期第3四半期	3,932	7.3	300	622.9	306	547.0	182	453.4

(注)包括利益 28年6月期第3四半期 69百万円 (△67.7%) 27年6月期第3四半期 213百万円 (443.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	6.56	—
27年6月期第3四半期	11.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第3四半期	9,231	5,355	58.0	323.35
27年6月期	8,479	5,319	62.7	321.18

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 5,355百万円 27年6月期 5,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,438	4.4	69	△65.7	76	△63.5	10	△88.2	0.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期3Q	16,600,000 株	27年6月期	16,600,000 株
28年6月期3Q	37,003 株	27年6月期	36,103 株
28年6月期3Q	16,563,537 株	27年6月期3Q	16,565,241 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の回復に慎重な動きがあり、力強さを欠く展開となりましたが、緩やかな回復基調が続きました。海外では、米国の消費、生産は着実に増加し、欧州も景気持ち直しの動きが続いています。一方でアジア圏の経済は中国の経済成長が一段と鈍化し、原油価格低下による産油国経済への影響が顕在化しており、世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車関連部品、建設機械関連部品、産業工作機械関連部品の中で、自動車関連受注はスポット受注もあり好調に推移し対前年同期比で増収となりましたが、建設機械関連受注および、産業工作機械関連受注は中国の経済減速等の影響により、対前年同期比で減収となりました。全体の売上高は、前年同四半期連結累計期間と比較してやや減収となりました。また、電力費、ガス等のエネルギーコストは大幅に低下し、その他経費の削減にも努めました。平成27年12月に操業開始した連結子会社である(株)オーネックステックセンターの操業開始に伴う経費が先行し、営業損失を計上したため、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,861百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は210百万円（前年同四半期比30.1%減）、経常利益は212百万円（前年同四半期比30.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は108百万円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、主力取引業界である自動車部品関連需要はスポット受注もあり増加したものの、産業工作機械関連部品は中国経済の減速等により一時的に需要が低下した影響から受注が減少、建設機械関連部品もアジア新興国や資源国等の景気下振れの影響から引き続き低迷しており、売上は前年同四半期比減少しました。

一方で電気・ガス等のエネルギー価格が大幅に低下し、生産性の向上及び、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めました。

風力発電については、増速機用歯車の熱処理を手がけておりますが、前年同四半期比横ばいで推移しました。

また、連結子会社である(株)オーネックステックセンターは三重県亀山市の工場が平成27年12月から操業開始しており、自動車関連部品のスポット需要があったことから、第3四半期の売上は順調に推移しましたが、操業開始に伴い本格受注のための試作、治具・工具の取得や不動産取得税等の経費が先行しており、営業損失102百万円を計上しました。

これらの結果、売上高は3,441百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益は159百万円（前年同四半期比35.3%減）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱い、売上は前年同期比やや減少したものの堅調推移しました。また、軽油価格の低下、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。なお、(株)オーネックステックセンターの操業開始に伴い、(株)オーネックスラインも平成28年2月に三重営業所を開設し、運送事業の需要拡大を図っております。

これらの結果、売上高は420百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益は27百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して751百万円増加し、9,231百万円となりました。これは主に現金及び預金が519百万円、建設仮勘定が247百万円減少したものの、建物及び構築物が580百万円、機械装置及び運搬具が841百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して715百万円増加し、3,875百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が83百万円、社債が65百万円減少したものの、長期借入金が806百万円、未払金が110百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して35百万円増加し、5,355百万円となりました。これは主に利益剰余金が75百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が39百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年8月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細は平成28年5月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,073	1,463,323
受取手形及び売掛金	1,466,711	1,375,190
電子記録債権	280,682	338,980
製品	17,328	14,921
仕掛品	32,091	24,269
原材料及び貯蔵品	82,474	76,116
繰延税金資産	16,351	33,258
その他	121,864	226,886
貸倒引当金	△337	—
流動資産合計	4,000,240	3,552,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	828,614	1,409,520
機械装置及び運搬具(純額)	295,918	1,136,978
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	120,531	159,282
建設仮勘定	247,334	—
その他(純額)	93,554	146,099
有形固定資産合計	3,861,804	5,127,731
無形固定資産	106,257	79,293
投資その他の資産		
投資有価証券	260,777	208,497
繰延税金資産	129,300	135,523
その他	118,519	119,334
投資その他の資産合計	508,596	463,355
固定資産合計	4,476,659	5,670,381
繰延資産	2,433	7,733
資産合計	8,479,333	9,231,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	219,889	172,061
電子記録債務	154,027	173,613
短期借入金	315,887	461,062
1年内償還予定の社債	148,000	65,000
未払金	141,462	251,687
未払費用	217,679	244,774
未払法人税等	102,381	67,039
賞与引当金	19,141	75,853
その他	240,681	147,173
流動負債合計	1,559,150	1,658,266
固定負債		
社債	167,500	102,500
長期借入金	811,645	1,472,531
退職給付に係る負債	476,443	468,272
その他	144,656	173,800
固定負債合計	1,600,244	2,217,104
負債合計	3,159,394	3,875,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,655,274	3,730,847
自己株式	△5,332	△5,453
株主資本合計	5,241,736	5,317,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,202	38,501
その他の包括利益累計額合計	78,202	38,501
純資産合計	5,319,938	5,355,690
負債純資産合計	8,479,333	9,231,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,932,424	3,861,528
売上原価	2,854,881	2,836,776
売上総利益	1,077,542	1,024,752
販売費及び一般管理費	777,029	814,674
営業利益	300,513	210,078
営業外収益		
受取利息	2,973	2,626
受取配当金	1,864	2,428
受取賃貸料	6,038	5,141
スクラップ収入	6,251	5,591
その他	7,754	5,750
営業外収益合計	24,883	21,538
営業外費用		
支払利息	11,453	14,175
支払手数料	6,032	4,716
社債発行費	809	—
その他	144	655
営業外費用合計	18,439	19,547
経常利益	306,956	212,069
特別利益		
固定資産売却益	9,641	11,427
保険差益	—	4,564
特別利益合計	9,641	15,992
特別損失		
固定資産除却損	3,120	724
その他	114	—
特別損失合計	3,234	724
税金等調整前四半期純利益	313,363	227,338
法人税、住民税及び事業税	145,645	126,516
法人税等調整額	△15,225	△7,879
法人税等合計	130,420	118,636
四半期純利益	182,943	108,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,943	108,701

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	182,943	108,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,958	△39,700
退職給付に係る調整額	8,872	—
その他の包括利益合計	30,830	△39,700
四半期包括利益	213,774	69,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,774	69,000
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,490,040	442,383	3,932,424	—	3,932,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	197,674	197,674	△197,674	—
計	3,490,040	640,058	4,130,099	△197,674	3,932,424
セグメント利益	247,295	31,006	278,302	22,210	300,513

(注) 1. セグメント利益の調整額22,210千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,441,331	420,197	3,861,528	—	3,861,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	195,534	195,534	△195,534	—
計	3,441,331	615,732	4,057,063	△195,534	3,861,528
セグメント利益	159,883	27,106	186,990	23,088	210,078

(注) 1. セグメント利益の調整額23,088千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。